

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：ピッピ保育園（本園） ピッピ みんなの保育園（分園）	種別：児童分野 認可保育所
代表者氏名：鈴木恵	定員（利用人数）：28（本園）、 29（分園） 名
所在地：横浜市青葉区荏田西3丁目1-19（本園） 横浜市青葉区市が尾町1161-8くらしてらす2階（分園）	
TEL：045-910-0662（本園） 045-508-9523（分園）	ホームページ： https://npo-pippi.net/pphoikuen/ （本園） https://npo-pippi.net/ppminnanohoikuen/ （分園）
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2005年4月1日（本園）、2018年4月2日（分園）	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人ピッピ・親子サポートネット	
職員数	常勤職員：13（本園）、15 （分園）名 非常勤職員：19名（本園）、12名（分園） 名
専門職員	保育士：20（本園）、13（分 園）名 看護師：1（分園）名
	栄養士：2（本園）、1（分園） 名
施設・設備 の概要	（居室数）： （設備等）保育室、調理室、スタッフルーム、事務室、シャワー室、調乳室など

③理念・基本方針

子どもたちの成長は、未来社会を切り拓くかけがえのないものです。こどもたちがその子らしく育つ権利を保障され、大人たちは喜びをもって子育てを楽しめる、そんなコミュニティをつくることは私たち大勢の願いです。「NPO法人ピッピ・親子サポートネット」はこの理念を基盤として保育園を運営しています。

ピッピ保育園の保育目標

「ひとつの家族のように、たすけ合い、育ち合う」

心温まる場所/みんなが先生/考えてみよう・やってみよう/ちがうってステキ/自然は友だち/地域とともに

ピッピみんなの保育園の保育目標

- ・みんなが安心して過ごせる場所、心温まる場所に
- ・子どもたちの「やりたいやってみよう」気持ちを大切に
- ・ちがうってステキ。一人ひとりを大切に
- ・自然は友だち。日々、身近な自然に触れ、四季を感じて過ごす

・安全安心の旬の食材で、素材の美しさを味わう食事を

④施設・事業所の特徴的な取組

「子どもたちの健やかな育ちを願う」

毎日公園や狭いながらも空間を工夫した園庭で遊び、安心安全な食材を使った給食をみんなで頂きます。時には畑で収穫した野菜を使い、クッキングをします。

「生きる力を培う」

異年齢保育をする中で、子どもたち同士の育ち合いを見守り、特に大きい子たちは月に1回、いつもより足を伸ばして自然の中で過ごす日があります。森の中では子どもたちが先生。自然の面白さや、身体の使い方、仲間と力を合わせる楽しさ・・・たくさんのことを学ぶ時間になっています。

「主体性を大事にする」

子どもが主役、子どもたちから始まる遊びを心掛け、子どもの自主性・主体性を大切にしています。

「地域とのつながり、親子支援」

「まち保育」を実施。荏田西地区の連合自治会、民生委員、社会福祉協議会と繋がる保育園として、地域の皆さんみんなに暖かく見守られた園です。働いていてもいなくても預かる一時保育を始め、園開放、相談の日、育児講座、babyの日等、子育て支援に取り組んでいます。

市が尾駅の反対側の複合施設「生活クラブくらしてらす」の2階に分園「ピッピみんなの保育園」があります。屋上に太陽光発電パネルを設置したエコ保育所でもあります。園庭はありませんが、広々としたテラスがあります。子どもと家族を応援するまちの拠点として、困ったときには「いつでもきてね」をモットーに、定員10人の一時保育を併設し、親子ルームを子育て支援の場として開放しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月29日（契約日）～ 2020年12月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2015年度）

⑥総評

【特に評価の高い点】

◆子ども一人ひとりの違いを大切にされた保育を実践しています

園は子ども一人ひとりの家庭の状況や発達状況を把握し、子ども一人ひとりが自分の良さを発揮し、主体的に活動できるように保育しています。保育士からの働きかけは最小限にし、子ども同士の話し合いにより、日常の遊びやグループ分けから大きな行事まで子どもが主役となれるように支援しています。子どもからの発信には丁寧に応じ、子どもがやりたいということを制止することなく受けとめ、子ども自身が納得できるように個々に合わせた対応をしています。保育士の見守りのもと、子どもたちはそれぞれの思いを素直に言葉や態度で表し、それぞれが好きなことを見つけて、友だちとあるいは一人でゆったりと遊んでいます。保育士は一人ひとりの子どもの得意なこと、苦手なことを把握し、その子どもの良さが発揮できるように支援しています。子どもたちは、年齢やクラス、障害のあるなしに関わらず、まるで大きな家族であるかのようにお互いを認め合い、のびのびと自分らしさを発揮して園生活を楽んでいます。

◆職員間で話し合い、目指す保育の実践に向けて取り組んでいます

クラスミーティングや運営会議で子ども一人ひとりの状況について密に話し合い、全ての職員が全ての子どもを共有し、同じ対応ができる体制を築いています。話し合いの場を多く持ち、お互いの気づきや疑問点、思いなどを話し合う中で職員同士がお互いを理解し、連携できる関係が出来ています。苦情・要望をまとめて内容別に傾向分析して対応方法を見直したり、事故事例を受けて安全管理体制を分析・改善するなど、職員間で話し合っただけで課題解決をし、組織をあげて目指す保育の実践に取り組む体制が出来ています。

◆地域とのつながりを大切に、地域の課題の解決に向けて取り組んでいます
園は、保育理念に基づき、地域とのつながりを大切にしています。地域の課題を把握・分析し、地域が乳幼児期の子どもを見守り育てる「まち保育」の実践として横浜市立大学と協働して、地域自治会や民生委員、地域住民と一緒にワークショップを行うなど、課題解決に向けて積極的に取り組んでいます。このような取り組みの結果、地域との良好な関係ができていて、子どもたちは地域に優しく見守られ、地域で育っています。地域の子育て支援としては、一時保育、園開放、育児相談、育児講座などを積極的に行っています。特に一時保育には力を入れていて、「働いていてもいなくても預かる」をモットーにリフレッシュ、緊急など様々な要件の子どもを、専用の一時保育室、職員を用意して預かっていて、地域のセーフティネットとしての役割を果たしています。

【改善を求められる点】

◆5ヶ年プロジェクトを中期計画としてまとめていくことが期待されます
法人理事会で経営課題と方向性を示したビジョン「5ヶ年プロジェクト」について話し合い、園の運営会議で職員に説明しています。今後は、5ヶ年プロジェクトを具体的な施策や実施内容、工程表などを明記した中期計画としてまとめ、進捗状況や評価をしていくことが期待されます。

◆職員一人ひとりが見通しをもてるような個別の人材育成計画の策定が期待されます
園は、初任者、中堅、主任など階層や職種別の求める業務レベルと研修を明示するとともに、目標設定シートを用いて人材育成をしています。ただし、具体的に個々の職員に当てはめた個別の研修計画の策定は未実施で、研修内容も全職員対象のものが多くなっています。また、専門職員など職員が個々のライフプランにあわせて将来像を描けるような複数の道筋を呈示することも今後の課題になっています。職員個々に応じた人材育成計画の策定が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

ピッピー保育園としては3回目、ピッピーみんなの保育園（分園）としては初めての第三者評価を受審しました。

分園が開園して3年目となり、あらためて評価を受けることで保育園として社会的に求められていることを一つ一つ確認する良い機会となりました。

職員の中でグループに分かれて評価項目について話し合うことで、自分たちの中で出来ていること、改善すべきことがはっきり見えてきました。

特に高い評価をいただきました、「子どもひとりひとりの違いを大切にされた保育を実践すること」や「職員間で話し合うこと」、「地域とのつながりを大切にすること」は今後も大切にしていきたいことです。

改善点として挙げられた「中期計画」については、毎年度策定している事業計画と計画に対する点検評価を元に5ヶ年計画を策定している所です。引き続きこれらの取り組みを

進めるとともに、一層の発信に努めます。

保護者のみなさまからのご意見についても真摯に受け止めさせていただき、改善が必要なことにはきちんととりくみ、今後も信頼される保育園をめざします。

今年度はコロナ禍ということもあり、保育の現場もいつもと違う状況にあります。職員が保護者とお話する機会が少ない中ではありますが、保護者のみなさまにもご協力いただき、これからも子どもも大人もともに育ちあうことを大切に過ごしてまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり